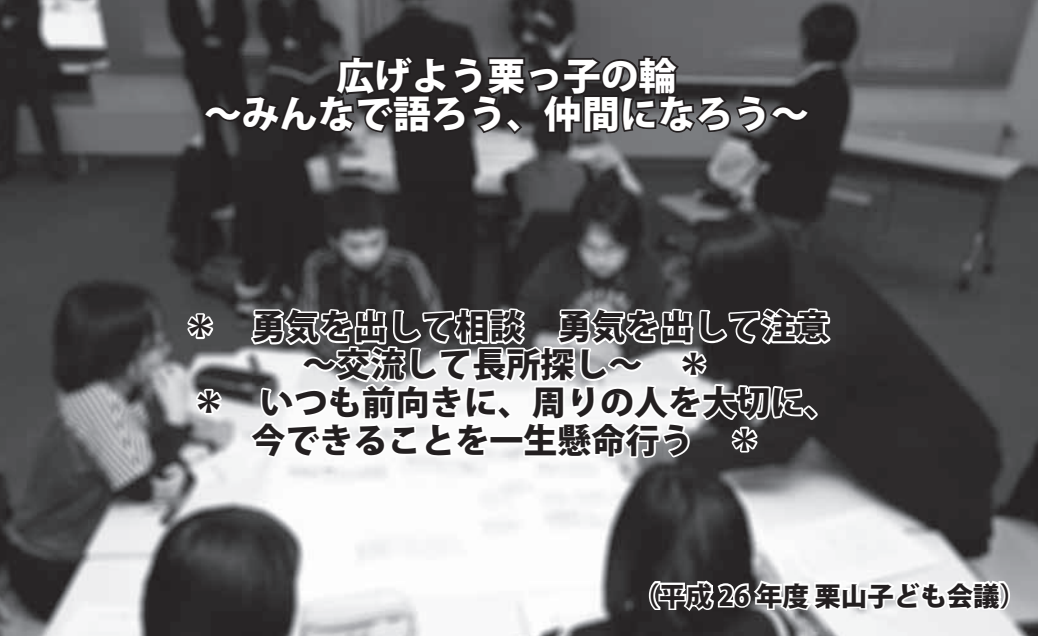




＊ 勇気を出して相談 勇気を出して注意
～交流して長所探し～ ＊
＊ いつも前向きに、周りの人を大切に、
今できることを一生懸命行う ＊

(平成26年度 栗山子ども会議)

栗山町いじめ防止基本方針（概要）

【基本的な考え】

私たちは、栗っ子一人ひとりの尊厳を守り、心豊かに、健やかに成長する“ふるさと栗山”の実現を目指し、学校や家庭はもとより全ての人々が連携協力し、町をあげて「いじめ防止」に取り組みます。

【教育委員会の取り組み】

- 栗っ子の豊かな情操と道徳心を培い、心を通わせます。
- 「いじめ」の未然防止、早期発見・早期対応の取り組みを進めます。
 - スクールカウンセラーや相談員、臨床心理士による教育相談体制を充実させます。
 - 定期的な「いじめアンケート調査」を実施します。
 - 電話相談を活用します。(☎ 72-1112)
- 「栗山町いじめ問題対策会議」を設置し、組織的な「いじめ」の防止対策を進めます。
- 児童生徒が行う「いじめ」防止活動を支援します。
 - インターネット上の「いじめ」を防止します。(ネットパトロール)
 - 町内小中高校生による仲間づくり「栗山子ども会議」を開催します。

【学校の取り組み】

- 「いじめをしない」「いじめをさせない」「いじめを許さない」学校づくりを進めます。
 - いじめの兆候（サイン）を見逃さず、早期解決を図ります。
 - 児童生徒を理解を図り、相談しやすい環境をつくります。
- 「学校いじめ防止基本方針」を策定し、組織的な取り組みを進めます。
 - 校内に「いじめの防止と対策のための会議」を設置します。
- 「いじめの実態把握」のためのアンケート調査などを計画的に実施します。
 - 学校生活満足度調査（Q-Uテスト）を実施します。(小学5年生、中学1・2年生対象)
 - ネットパトロール（ネット上のいじめ）を実施します。

【家庭（保護者）や地域の役割】

- 家庭は、子どもの教育に第一義的な責任を果たします。
 - しつける厳しさを持ち、命の大切さや他者を思いやる心を育みます。
 - インターネットやスマートフォンは、保護者の責任で管理します。
 - 地域（住民）は、子どもの健やかな成長や発達を見守り、育みます。
 - PTA活動や育成会活動に参加します。
 - 広域補導連絡協議会の活動に参加（協力）します。
 - 地域の文化やスポーツ活動（少年団活動）に参加します。
- *詳細は、町ホームページに掲載していますのでご覧ください。

というケースも見られます。
また、社会や生活の急激な変化から「いじめ」は多様化し、「ネット上のいじめ」など新たな対応が求められています。「いじめは絶対に許さない」というしつかりとした決意と学校、家庭、地域、行政など関係機関の連携協力が不可欠です。

いじめを防止するために

平成23年10月、滋賀県大津市で中学2年生男子生徒が、いじめを苦に自殺するという事故がありました。この男子生徒は、自殺をほのめかすメールを加害者に送っていました。これを機に国は、「いじめ防止対策推進法」を制定し、北海道では、「北海道いじめ防止等に関する条例」を制定しました。

町教育委員会は、「いじめは絶対に許さない」という強い決意をもつて「栗山町いじめ防止基本方針」を定め、学校や家庭はもとより全ての町民が連携協力して、いじめの未然防止や早期発見、早期解決に向けた取り組みを進めています。

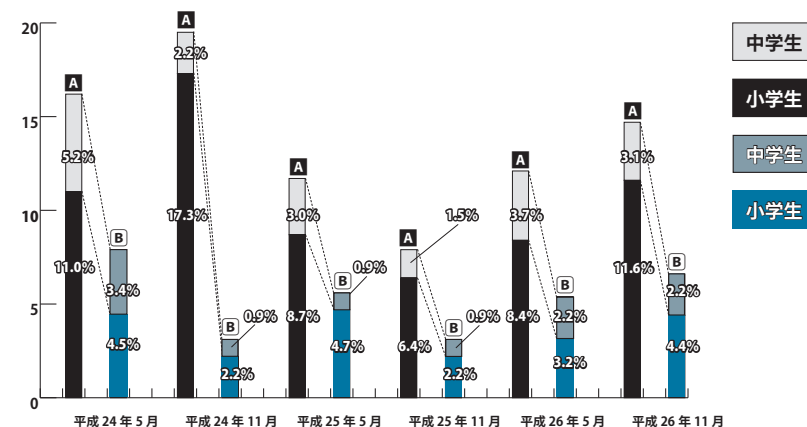
いじめは、大人には気づきにくいものですが、いじめられた子どもには必ず前兆（サイン）があります。いじめの芽は、どの子どもにも生じる全ての子どもに関係する問題です。
忙しい中でも、子どもたちとの関わりを持つ時間や場をつくり、「いじめ」のない地域をつくりましょう。

いじめは絶対に許さない 広げよう！栗っ子の輪

岩手県矢巾町の中学2年生の男子生徒が電車にひかれ死亡するという悲惨な事故がありました。男子生徒の生活記録ノートには、「いじめ」を苦にした自殺予告とも受け止められる担任教師とのやり取りの記録がありました。

いじめは、いじめを受けた児童生徒の心身の健全な成長や人格の形成に重大な影響を与えるだけでなく、生命や身体に重大な危険を生じさせる恐れがあり、決して許されるものではありません。

＜いじめ把握のためのアンケート調査＞



A：いじめられたことがありますか B：今もいじめられていますか



アンケート結果を見て
皆さんは、どう思いますか？

町教育委員会は、「いじめは、どの子どもにも、どの学校にも起こりうる」という認識の下に、いじめの兆候（サイン）をいち早くとらえ迅速に対応するように努めています。その取り組みの一つとして、いじめは、インターネットを通じて行われるものを含めて「対象となった児童生徒が苦痛を感じているもの」と

定義して、年2回、「いじめ把握のためのアンケート調査」を行っています。アンケート結果についてですが、調査項目の「いじめられたことがありますか」では、小学校低学年で高い割合を示しています。また、「今もいじめられていますか」という調査項目では、小学生で4.5%以下、中学生で3.4%以下となり、いじめの多くは解決していますが、平成25年5

月調査の中学生の4件を最高に、毎回の調査で小中学生合わせて1件程度のいじめが認められ、依然としていじめは後を絶たず、大きな課題と受け止めています。

いじめの多様化

いじめの多くは、「冷やかしの悪口を言われる」「仲間から無視される」などですが、中には「物を隠される」「暴力を振るわれたりする」

「いじめ」の内容

- ①冷やかしの、からかい、悪口や脅し、嫌なことを言われる
- ②仲間はずれや集団から無視される（陰湿化）
- ③遊ぶふりをして叩かれたり、ぶつかられたり、蹴られたりする（偽装化）
- ④本気で叩かれたり、ぶつかられたり、蹴られたりする（暴力）
- ⑤金品をたかられる（犯罪）
- ⑥金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたりする（犯罪）
- ⑦嫌なこと、恥ずかしいこと、危険なことをさせられる（強要）
- ⑧インターネットやスマートフォン（無料アプリ）で誹謗中傷される（犯罪）

平和を未来に引き継ぐために

戦後70年の節目を迎えて

町史に、ある古老の回想記が記されています。「戦争は終わった。過去をふり返ってみても、何らの感興も湧かず、よくぞ生き延びてきたという一縷の安堵感が心の片隅にあるのみであった。一家の支柱を失いながらも、じつとこらえて家を支えてきた未亡人のあふれる涙、戦争が終わったからといって戻ることのない淋しさと空しさ、そして口惜しさを、どこにぶつけばと涙ながらに位牌を抱きしめる老父母。いったい何のための戦争であったのか、負けて終ったあととはどうなるのだろうか、考えても考えても何の答えも浮かばなかった」

戦後70年の節目を迎え、戦争体験を語れる人も少なくなり、戦争を知らない世代は増えています。

町では、「非核・平和のまち宣言」に基づく非核・平和に対する意識啓発の推進、世界恒久平和の実現に寄与することを目的とした「平和首長会議」への加盟手続き、平和を語り継ぐ貴重な証しである「青い目の人形『マリー』（角田小学校で保管）の小学校社会科副読本への掲載の検討などに取り組んでいます。

私たちは、これからも遺族の痛恨を、深い傷跡を、戦争や核兵器の悲惨さを、次の世代に語り継いでいかなければなりません。



被爆70年「原爆と人間」パネル展

美しいふるさとを未来の子どもたち、孫たちへ残していくために、私たちは、先の戦争は何だったのかを今一度、立ち止まって考える必要があります。

先の大戦をはじめとする幾多の戦禍により犠牲となられた戦没者を追悼し、平和への誓いを新たにすため、次のとおり戦没者追悼式を行います。

今年戦後70年の節目の年です。ご遺族の方のみならず、一般の方も参列できます。

【日時】8月20日(木)
(受付)午前10時～
(追悼式)午前10時30分～
【場所】角田農村環境改善センター
【問い合わせ】町保健福祉課福祉子育てグループ ☎732222

【期間】8月19日(水)～23日(日)
【時間】午前10時～午後5時
(23日は午後4時まで)
【場所】町図書館ギャラリー
(23日は視聴覚室)
※8月23日(日)午前10時から『戦争と平和』戦争体験を語る』を行います。(青い目の人形も展示)
【問い合わせ】原水爆禁止栗山協議会事務局 佐藤 功 ☎2158



伝えたい戦中・戦後のくらしパネル展

写真と実物資料で、戦時中のくらしの様子を見ることができます。

【期間】9月2日(水)～6日(日)
【時間】午前10時～午後5時
【場所】まちの駅「栗夢プラザ」
【共催】町遺族会
【問い合わせ】町保健福祉課福祉子育てグループ ☎732222

栗山町総合防災訓練

【問い合わせ】町総務課広報・防災・情報グループ ☎7501

今年度は、錦地域を対象とした総合防災訓練を実施します。いつ発生するかわからない災害から、自身やご家族の生命、大切な財産を守るため、防災訓練に参加しましょう。

落ち着いて行動するために

災害時に落ち着いて行動するためには、防災訓練に参加するなど、経験と知識を広げることが必要です。

【日時】8月9日(日) 午前9時～正午
(少雨決行)

【場所】

カルチャープラザ「Eki」10区、北区、西区町内会

【訓練内容】

住民避難訓練、火災消火・救助訓練、応急手当訓練、炊き出し訓練など

【災害体験】

煙体験、災害伝言ダイヤル体験、はしご車乗車体験

【展示】

防災グッズ、移動電源車 ※対象地域以外の方も、自由に見学や災害体験コーナーを利用できます。



緊急速報メール（エリアメール）を配信します

町は地震などの災害が発生した時、災害・避難情報を町民の皆さんに携帯電話でお知らせするメールサービスを利用しています。

今回の総合防災訓練において、避難情報伝達広報訓練としてメール配信を実施します。

このメールは、町内全域にある緊急速報メール対応携帯電話すべてに配信されますので、お間違えのないようにご注意ください。

◆配信内容

【訓練】避難勧告

こちらは栗山町です。本日、午前8時15分、昨夜からの大雨により夕張川の水位が上昇し、錦地区の一部地域において床下浸水の被害が発生。今後、さらに増水し被害が拡大する恐れがあることから、栗山町災害対策本部は10区、北区、西区町内会に対し避難勧告を発令しました。対象地域の皆さんはカルチャープラザ「Eki」へ移動するなどの避難をしてください。

※これは訓練です。実際に避難勧告などが発表された場合も緊急速報メールでお知らせします。※



